

緑豊かな大地を次世代へ

農地・水保全管理支払交付金事業の概要



農地・水保全管理支払交付金事業

農村地域の過疎化や高齢化などにもない、適切な保全管理が困難になった農地や農業用水等の資源を地域ぐるみで保護し、長寿命化するための補修等を支援する事業です。

農林水産省では、農地・水・環境を守るための地域ぐるみでの共同活動と、農業者ぐるみでの先進的な営農活動を支援する「農地・水・環境保全向上対策」事業を平成19年度から実施しており、平成23年度からは、活動組織（集落）が行う農地周りの水路・農道等の施設の長寿命化のための補修・更新などの活動に対し追加的に支援するよう見直しを行った「農地・水保全管理支払交付金」事業を新たにスタートさせています。



「とんぼの未来・北の里づくり」は、道内における本事業の愛称です。

置戸町での取組状況

農村の地域資源は、これまでの先人のたゆまぬ努力の積み重ねにより形づくられてきた国民共有の財産です。

置戸町では、平成20年度から常呂川上流部と下流部それぞれに、地域住民と農業者が一体となった資源保全協議会を立ち上げ、「①明渠排水路の維持、②農道や農地法面の草刈り、③鹿防護柵の維持・補修、④ヒマワリ、キカラシなどの植栽による景観形成」の取り組みを実施し、地域の重要な財産である農地と水を次世代へ良好な状態で引き継ぐための活動を行っています。

